

これからの経営情報学

山田善靖

(2002年～2004年会長)

経営情報学会が創立され、20周年を迎えることになり、おめでとうございます。創立当初は経営情報学とはどのような学問かが全くわからず、手探りでいろいろと議論したことを思い出します。もちろん現在でも経営情報学はどのような学問かがわかったわけではないと思いますが、この20年でIT技術の飛躍的發展、ITのネットワーク利用の發展に伴って着実に新しい方向が出てきております。この20年間に飛躍的に發展してきたICTは今後どのような方向に、どのような速さで發展し続けるかによって、また社会ではこれらの技術をどのように取り入れていくかによって経営情報学会の發展方向も当然異なってくるのではないのでしょうか。

技術的發展はある程度は予測がつくのではないのでしょうか。しかし、これらの技術を社会が受け入れる方向はなかなか予想がつきにくいのではないのでしょうか。社会システムや経済システムは、人間が介在しているために vicious circle (悪循環) システムを内包しているように思います。景気が良くなれば、ますます良くなりバブルが生じたり、あるモノが売れば、そのモノはますます売れるようになっ

たりするように。昔 “The untouchables—The Real Story” by Eliot Ness with Oscar Fraley という本を読んだことがあります。この本は昔テレビで人気番組であった “アンタッチャブル” の主人公エリオット・ネス本人が書いた本です。この中で、シカゴの警察官とカポネの情報流通と賄賂の vicious circle のことが書いてあります。ネスはこの vicious circle をいかに切断するかを考えてカポネ逮捕を実現したかが書かれています。これからの社会の変化を考える際に何らかの形で表れる悪循環を断ち切る方法を考えることが必要ではないでしょうか。

ついで、長期的視点での経営情報学の方向に関する研究論文がこれから求められるのではないのでしょうか。

*この本の名前、著者、出版社

THE UNTOUCHABLES: The Real Story by ELIOT NESS with Oscar Fraley, POCKET BOOKS, a division of Simon & Schuster, Inc., 1230 Avenue of the Americas, New York, N.Y. 10020, ISBN: 0-671-64449-1